OZ Corporation

Loudspeaker Impedance Analyzer Management Software

SIA-01Manager

Version 1.1

取扱説明書

本ソフトウェアを正しく安全にお使いいただくため、
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる
所に必ず保管してください。

使用許諾契約書

ご使用の前に、必ずこの「使用許諾契約」をよくお読みください。

本ソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）は、SIA-01 Manager ソフトウェア（付属の説明書、ファイル等を含み、以下「本件ソフトウェア」といいます。）に関し、オズ株式会社（以下「オズ（株）」といいます。）と本件ソフトウェアの全部又は一部をハードディスク等の記憶装置へ保存し、又は本件ソフトウェアに含まれるプログラムをコンピュータ上で実行する者（以下「使用者」といいます。）との間で締結される契約です。

第１条（本契約の成立、効力及び終了）

（1）使用者は、本件ソフトウェアの全部又は一部をコンピュータのハードディスク等の記憶装置へダウンロード、及びインストール等により一時的であるか否かを問わず保存したとき、又は本件ソフトウェアを使用したときは本契約の締結に同意したものとみなされます。この使用者の同意をもって、本契約は成立し、効力を生じます。

（2）使用者は、自己が保存した本件ソフトウェアの全てを削除することにより、本契約を終了させることができます。

（3）オズ（株）は、使用者の事前の同意、又は使用者への通知等を要することなく、本契約を終了することができます。

（4）使用者が、本契約中の各条項の一に違反した場合、本契約は終了し、使用者は、自己が保存した本件ソフトウェア及び違反行為によって生じたもの全てを消去するものとします。

（5）使用者は、理由のいかんを問わず、本件ソフトウェアの終了についてオズ（株）に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとします。

第２条（許諾事項）

オズ（株）は、使用者に対し、本件ソフトウェアを日本国内において本契約に基づく条件の範囲内で、非独占的に無償で使用することができる譲渡不能な権利を許諾します。なお、本契約によって本件ソフトウェアを使用することができるのは、使用者本人のみです。

第３条（禁止事項）

（1）使用者は、本契約において明示的に認められた場合を除き本件ソフトウェアを複製することはできません。

（2）使用者は、本件ソフトウェアを第三者に配布（例えば、ウェブサイトや電子掲示板等にアップロードさせること、雑誌、書籍等に添付すること等をいいます。）、及び譲渡することはでき ません。

（3）使用者は、本件ソフトウェアに含まれるプログラムに対して、修正を加えること、翻訳、翻案を行うこと、及び逆コンパイル、逆アセンブル等のリバースエンジニアリング（オブジェクトコード等を解析して人間が読み取り可能な形式に変換すること）を行うことはできません。

第４条（秘密保持）

使用者は、本件ソフトウェアに関連して知り得たオズ（株）のノウハウ、アイディア、その他の秘密情報についてその秘密を保持するものとします。

第５条（著作権の帰属）

本件ソフトウェアの著作権は、全てオズ㈱に帰属します。

第６条（免責）

（1）オズ（株）は、使用者、その他の第三者が本件ソフトウェアに関連して直接又は間接に蒙ったいかなる損害に対しても、賠償等の一切の責任を負わず、かつ、使用者はこれに対してオズ（株）を免責するものとします。

（2）オズ（株）は使用者に対し、本件ソフトウェアの動作保証、使用目的への適合性の保証、商業性の保証、使用結果についての的確性や信頼性の保証、第三者の権利侵害及び瑕疵担保義務も含め、いかなる責任も一切負いません。
オズ（株）がこれらの可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

（3）オズ（株）は使用者に事前の同意、通知等を要することなく本件ソフトウェアの仕様又は内容の変更、修正、配布方法等の変更及び対価の設定をすることができます。

（4）オズ（株）は使用者に対し、本件ソフトウェアに関する技術サポート、保守、デバック、 アップグレード等いかなる技術的役務の提供義務も負いません。

（5）オズ（株）から使用者に提供される本件ソフトウェアにかかる情報についても、直接間接を問わず、本条各項の規定が適用されます。

第７条（その他の事項）

（1）本契約は、日本国の法律に準拠し、日本国の法律に基づいて解釈されます。本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属の合意管轄裁判所とします。

（2）使用者は、日本の外国為替及び外国貿易法その他の適用される輸出入関連法及び規制、関係各国の諸法令、規制を遵守するものとします。

（3）本契約第１条第４項及び第５項、第３条、第４条、第６条並びに本条は、本契約終了後もなお有効に存続します。

はじめに

SIA-01 Manager は、スピーカー・インピーダンス・アナライザ SIA-01 の測定カーブ、およびリファレンス・カーブの、保存、解析、編集などを行なうソフトウェアです。

■Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
■この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

動作環境

対応 OS	Windows® XP Windows® 7 (32bit/64bit) Windows® 8 (32bit/64bit) Windows® 8.1 (32bit/64bit)
COMポート	コンピュータ標準装備COMポート、またはバッファロー社製 USB シリアル変換ケーブルを使用

インストール

sia01manager_v11x_setup をダブルクリックするとインストーラが起動します。
その後は、インストーラの指示に従いインストールしてください。
インストールは管理者（Administrator）の権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

アンインストール

「コントロールパネル」内の「プログラムと機能」をダブルクリックし、アプリケーションの一覧から「SIA01Manager」をダブルクリックして、指示に従いアンインストールしてください。

SIA-01 との接続

① SIA-01 とコンピュータの COM ポート（RS-232C）を D-sub9P メス ー メス　クロスケーブル（リバースケーブル、またはインターリンクケーブルとも呼びます）で接続します。

※COM ポートを装備していないコンピュータと接続するときは、USB シリアル変換ケーブル（バッファロー社製）と、上記ケーブルを使用してください。

② 「通信」メニューの「COM ポート番号」を選択して、SIA-01 を接続した COM ポートの番号を設定します。

COM ポート番号が不明なときは、「デバイスマネージャー」を開き「ポート（COM と LPT）」をダブルクリックすると、現在使用している全ての COM ポート番号が表示されます。

ファイルの種類と役割

SIA-01 Manager では、次の２種類のファイルを使用します。

インピーダンス・ファイル（ .s1imp ）

インピーダンスのデータ、測定条件、OK/NG 判定条件などが保存されています。
SIA-01 からダウンロードした測定カーブ、およびリファレンス・カーブは、区別されること無くインピーダンス・ファイルとして保存します。
SIA-01 Manager 上では、このインピーダンス・ファイルを、測定カーブ、リファレンス・カーブのどちらでも使用できます。

リファレンス・リスト・ファイル（ .s1lst ）

SIA-01 へ 64 種類のリファレンス・カーブを、一度にアップロードするときに使用します。
このファイルには、リファレンス番号ごとにアップロードするファイル名とそのファイルの場所、カーブ名が保存されています。
このファイルは、SIA-01 からリファレンス・カーブをダウンロードすると自動的に作成されるほか、新規で作成したり編集することもできます。

フォルダーとファイルの名称

SIA-01 から測定カーブ、リファレンス・カーブをダウンロードすると、次の名称のフォルダー、およびファイルが作成されます。

測定カーブ

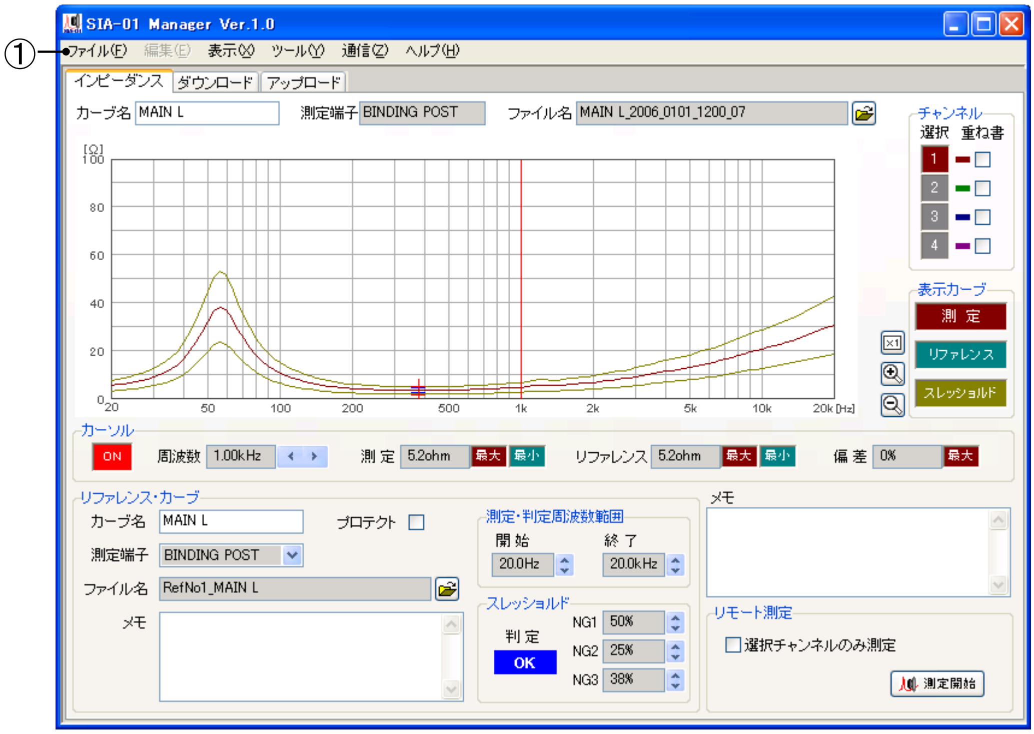
名前が「 Imp_ 」+「ダウンロード年月日」のフォルダーが作成され、その中に名前が「測定時に使用したリファレンス・カーブのカーブ名_」+「測定日時」（年_月日_時分_秒）のインピーダンス・ファイルが保存されます。

リファレンス・カーブ

名前が「 Ref_ 」+「ダウンロード年月日」のフォルダーが作成され、その中に名前が「RefNo」+「リファレンス番号_」「カーブ名」のインピーダンス・ファイルと、フォルダーと同じ名前のリファレンス・カーブ・リストが保存されます。

※カーブ名にファイル名として使用できない「¥ /:*?<>|」の文字が使われているときは、「_」に置き換えられます。

各部の名称と働き



①メニュー・バー

「ファイル」メニュー

- **「リファレンス・リストを新規に作成」**

  リファレンス・リストを新規に作成します。新規作成すると、アップロード画面が表示されます。

- **「開く」**

  ファイルを開きます。
  測定カーブ、リファレンス・カーブ、リファレンス・リストのいずれかを選択して、ファイルを開きます。

- **「上書き保存」**

  開いているファイルを上書き保存します。
  測定カーブ、リファレンス・カーブ、リファレンス・リストのいずれかを選択して、ファイルを上書き保存します。

- **「名前を付けて保存」**

  開いているファイルに、新しく名前を付けて保存します。
  測定カーブ、リファレンス・カーブ、リファレンス・リストのいずれかを選択して、ファイルを保存します。

- **「インピーダンス画面の画像を保存」**

  インピーダンス画面の画像をビット・マップ・ファイル（拡張子.bmp）にして保存します。

- **「グラフの画像を保存」**

  グラフ部分の画像のみをビット・マップ・ファイル（拡張子.bmp）にして保存します。

- **「測定カーブを CSV 形式で保存」**

  測定カーブとして開いているインピーダンス・ファイルを、「周波数[Hz]」,「チャンネル１のインピーダンス[Ω]」,「チャンネル２のインピーダンス[Ω]」,「チャンネル３のインピーダンス[Ω]」,「チャンネル４のインピーダンス[Ω]」の CSV 形式に変換してファイルに保存します。（拡張子 .csv）
  このファイルは一般的な表計算ソフトで、開くことができます。

- **「リファレンス・リストをCSV形式で保存」**

  開いているリファレンス・リストのデータを、「リファレンス番号」,「カーブ名」,「ファイル名」,「ファイルの場所」の CSV 形式に変換してファイルに保存します。
  （拡張子 .csv）
  このファイルは一般的な表計算ソフトで、開くことができます。

・「プリンタ設定」

使用するプリンタの種類、印刷方向などを設定します。

・「インピーダンス画面を印刷」

インピーダンス画面を印刷します。
印刷サイズ、印刷位置は自動的に設定されるため変更できません。

・「グラフを印刷」

グラフ部分を印刷します。
印刷サイズ、印刷位置は自動的に設定されるため変更できません。

・「終了」

「SIA-01 Manager」を終了します。

「編集」メニュー

「編集」メニューは、「カーブ名」、「メモ」にカーソルがあるときのみ使用できます。

・「元に戻す」

最後に入力した内容を取り消します。

・「切り取り」

選択範囲を削除してクリップボードへコピーします。

・「コピー」

選択範囲をクリップボードへコピーします。

・「貼り付け」

カーソルの位置にクリップボードの内容を挿入します。
文字を選択しているときは、置き換えます。

「表示」メニュー

・「インピーダンス画面」

インピーダンス画面を表示します。

・「ダウンロード画面」

ダウンロード画面を表示します。

・「アップロード画面」

アップロード画面を表示します。

・「チャンネル１選択」~「チャンネル４選択」

「インピーダンス画面」にある「チャンネル」の「選択」ボタンをオン・オフして、グラフに表示するチャンネルを選択します。

・「測定カーブ表示」、「リファレンス・カーブ表示」、「スレッショルド・カーブ表示」

「インピーダンス画面」にある「表示カーブ」の各ボタンをオン・オフして、グラフに表示するカーブを選択します。

・「グラフ拡大」

グラフの縦軸（インピーダンス）を拡大します。

・「グラフ縮小」

グラフの縦軸を縮小します。

・「グラフ等倍」

グラフの縦軸を等倍（0～100Ω）にします。

「ツール」メニュー

・「カーソル ON」

「インピーダンス画面」にある「カーソル」の「ON」ボタンをオン・オフして、カーソルの表示・非表示を切り換えます。

・「リモート測定開始」

リモート測定を開始します。
「インピーダンス画面」にある「リモート測定」の「測定開始」ボタンと同じ動作を行ないます。

「通信」メニュー

・「全測定カーブをダウンロード」

SIA-01 に保存されている、全ての測定カーブをダウンロードします。
「ダウンロード画面」にある「全測定カーブをダウンロード」の「OK」ボタンと同じ動作を行ないます。

・「全リファレンス・カーブをダウンロード」

SIA-01 に保存されている全てのリファレンス・カーブをダウンロードします。
「ダウンロード画面」にある「全リファレンス・カーブをダウンロード」の「OK」ボタンと同じ動作を行ないます。

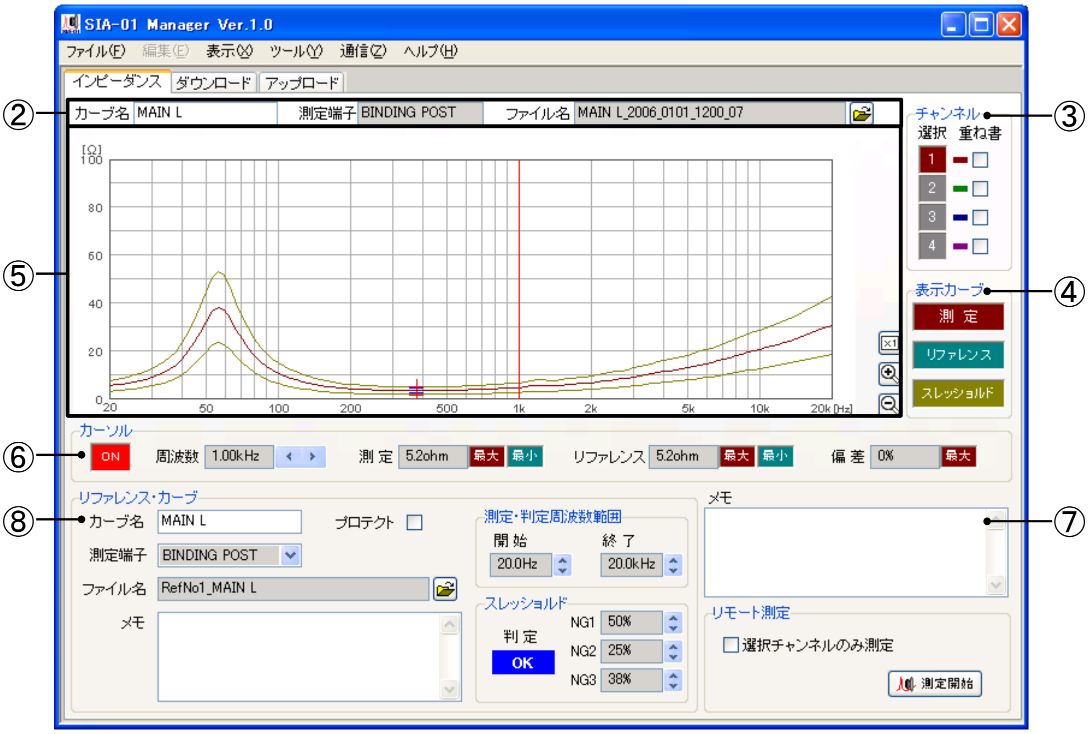
「ヘルプ」メニュー

・「バージョン情報」

本ソフトウェアのバージョンを表示します。

各部の名称と働き

【インピーダンス画面】



②測定カーブ

測定カーブとして表示するインピーダンス・ファイルの選択、およびカーブ名などの表示、変更を行なうことができます。

「カーブ名」表示

測定カーブのカーブ名を表示します。
マウスで左クリックすると編集できます。

※カーブ名の文字数は 12 文字、使用できる文字は半角英数字のみです。

「測定端子」表示

測定カーブを測定するときに使用した端子を表示します。

「ファイル名」表示

測定カーブのファイル名を表示します。
右側のボタンを左クリックすると、インピーダンス・ファイルを測定カーブとして開くことができます。

③「チャンネル」表示設定

「選択」ボタン

各カーブ、測定・判定周波数範囲、スレッショルド、判定結果について、表示するチャンネルを選択します。
「BINDING POST」は 1、「NL4」は 1 および 2、「NL8」は 1～4 のチャンネルを使用します。

「重ね書」チェックボックス

チェックしたチャンネルの測定カーブを、グラフに重ね書きします。
重ね書きされるカーブは、測定カーブのみです。

④「表示カーブ」

「測定」ボタン

オンにすると測定カーブをグラフに表示します。

「リファレンス」ボタン

オンにするとリファレンス・カーブをグラフに表示します。

「スレッショルド」ボタン

オンにすると OK/NG 判定で、OK と判定する範囲（スレッショルド）を NG の種類ごとにグラフへ表示します。
NG1 は赤の十字、NG2 の判定範囲は青の十字、NG3 はカーブで表示します。

⑤グラフ

測定カーブ、リファレンス・カーブ、スレッショルドが表示されます。

「+」ボタン

グラフの縦軸（インピーダンス）を拡大します。

「−」ボタン

グラフの縦軸を縮小します。

「x 1 」ボタン

グラフの縦軸（インピーダンス）を等倍（0〜100Ω）にします。

⑥カーソル

任意の周波数のインピーダンス値、偏差を表示することができます。

「ON」ボタン

カーソルをオン、オフします。
オンにするとグラフにカーソル（赤ライン）が表示され、その周波数の各値が表示されます。

「周波数」表示

カーソルの周波数を表示します。
右側のボタンを左クリックすると変更できます。

※グラフをマウスで左クリックすることでも周波数を変更できます。

「測定」インピーダンス表示

選択しているチャンネルの、測定カーブのインピーダンスを表示します。
「最大」ボタンを左クリックするとインピーダンスの最大値、「最小」ボタンを左クリックすると最小値の周波数にカーソルが移動します。

「リファレンス」インピーダンス表示

選択しているチャンネルの、リファレンス・カーブのインピーダンスを表示します。
「最大」ボタンを左クリックするとインピーダンスの最大値、「最小」ボタンを左クリックすると最小値の周波数にカーソルが移動します。

「偏差」表示

選択しているチャンネルの、測定カーブとリファレンス・カーブのインピーダンス偏差を表示します。
「最大」ボタンを左クリックすると、最大偏差の周波数にカーソルが移動します。

⑦「メモ」表示

測定カーブのインピーダンス・ファイルに保存されているメモを表示します。
表示を左クリックするとメモの内容を編集できます。

※インピーダンス・ファイルごとに、測定条件などの記録を残すため、約 500 文字のメモを保存できます。

※メモの内容は、SIA-01 へアップロードされません。

⑧「リファレンス・カーブ」

リファレンス・カーブとして表示するインピーダンス・ファイルの選択、およびカーブ名、測定端子、メモなどの表示、変更を行ないます。
変更したカーブをアップロードすると、SIA-01 上に反映されます。

「カーブ名」表示

カーブ名を表示します。
マウスで左クリックすると編集できます。

※カーブ名の文字数は 12 文字、使用できる文字は半角英数字のみです。

「測定端子」表示

測定に使用する端子を表示します。
マウスで左クリックすると、測定端子を変更できます。

「ファイル名」表示

ファイル名を表示します。
右側のボタンを左クリックすると、インピーダンス・ファイルをリファレンス・カーブとして開くことができます。

「メモ」表示

インピーダンス・ファイルに保存されているメモを表示します。
表示を左クリックするとメモの内容を編集できます。

※インピーダンス・ファイルごとに、測定条件などの記録を残すため、約 500 文字のメモを保存できます。
※メモの内容は、SIA-01 へアップロードされません。

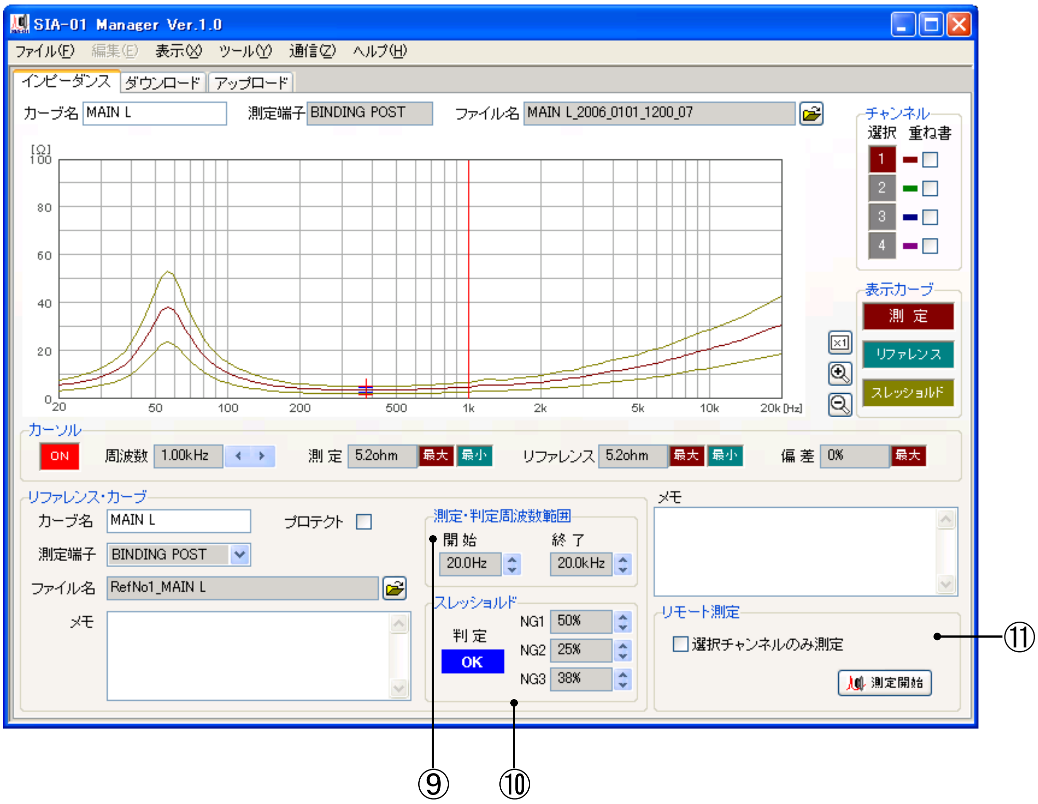
「プロテクト」チェック・ボックス

プロテクトの状態を表示します。
このチェック・ボックスをチェックしたインピーダンス・ファイルは、SIA-01 では上書き、カーブ名の変更が禁止されます。

※SIA-01 Manager 上ではプロテクトされません。

各部の名称と働き

【インピーダンス画面】



⑨「測定・判定周波数範囲」

リファレンス・カーブに設定されている周波数範囲を表示します。
インピーダンス測定とOK/NG判定は、この範囲で行なわれます。
この周波数範囲はチャンネルごとに設定されており、選択されているチャンネルの周波数範囲が表示されます。
表示部右側のアップ・ダウン・ボタンを左クリックすることにより変更できます。
周波数範囲を狭くしたインピーダンス・ファイルをアップロードすると、SIA-01はこの範囲のみ測定を行いますので、測定時間を短縮できます。

⑩「スレッショルド」・判定結果表示

リファレンス・カーブに設定されているOK判定範囲（スレッショルド）と判定結果を表示します。
OK判定範囲はチャンネルごとに設定されており、選択されているチャンネルの判定範囲とOK/NG判定結果を表示します。
表示右側のアップ・ダウン・ボタンを左クリックすると変更できます。
判定範囲を変更したカーブをアップロードすると、SIA-01は変更された範囲を使用してOK/NG判定を行ないます。
判定結果の詳細については、SIA-01の取扱説明書をご覧ください。

※④「表示カーブ」設定の「スレッショルド」ボタンがオンのとき、OK判定範囲をグラフに表示します。
NG1は赤の十字、NG2は青の十字、NG3はカーブで表示します。

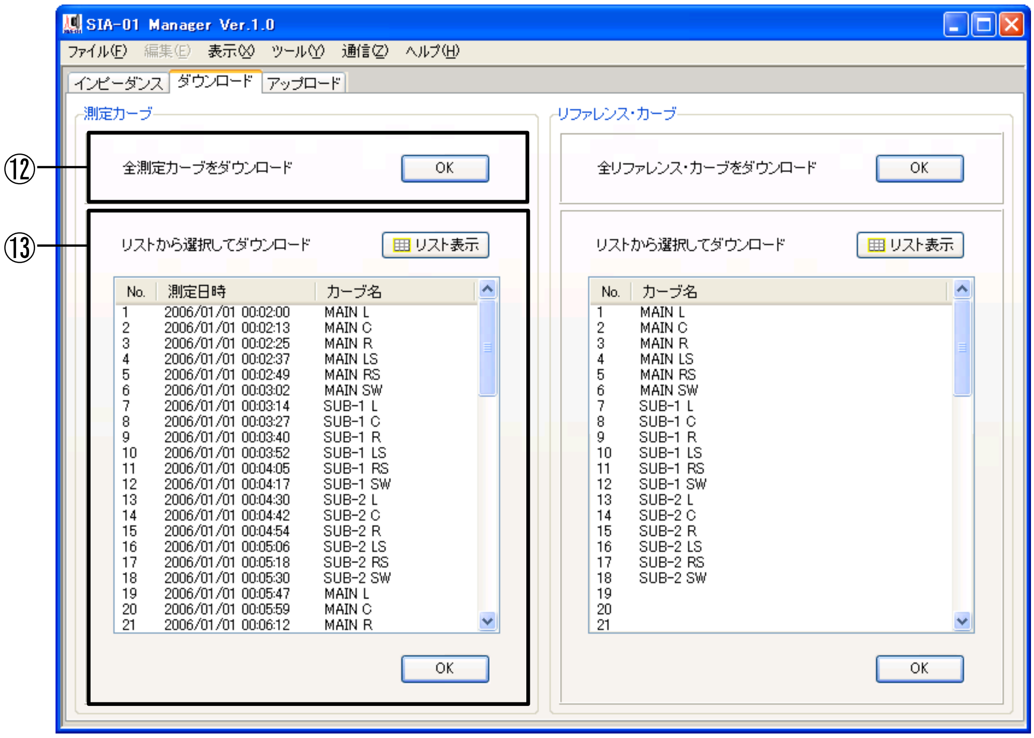
⑪「リモート測定」

SIA-01をリモート・コントロールして測定し、測定結果を測定カーブとして表示します。
測定端子などの測定条件は、「リファレンス・カーブ」、「測定・判定周波数範囲」、「スレッショルド」に表示されている条件を使用します。
チェックボックスをチェックしたときは、選択されているチャンネルのみ測定を行います。
測定は次の手順で行ないます。

① SIA-01をコンピューターに接続します。
② SIA-01をスイープ・モードに設定します。
③「リファレンス・カーブ」などで測定条件を設定します。
④ 測定開始ボタンを左クリックします。

※「リモート測定」の測定結果はSIA-01内部に保存されません。

【ダウンロード画面】



⑫「全測定カーブをダウンロード」

SIA-01 に保存されている全測定カーブをダウンロードし、インピーダンス・ファイルとして保存します。
「OK」ボタンを左クリックすると、保存フォルダー選択ダイアログが表示されますので、フォルダーを選択してダイアログの「OK」ボタンを左クリックするとダウンロードされます。

⑬「リストから選択してダウンロード」

SIA-01 に保存されている測定カーブのリストを表示し、そのリストで選択したカーブのみをダウンロードして、インピーダンス・ファイルとして保存します。

「リスト表示」ボタン

SIA-01 から測定カーブのリストをダウンロードして表示します。

測定カーブ・リスト表示

SIA-01 に保存されている測定カーブのリストを表示します。

「No.」

測定カーブの番号を表示します。
左クリックすると、番号の昇順・降順を交互に切換えて、行を並べ替えます。

「測定日時」

測定された日時を表示します。
左クリックすると、日時の昇順・降順を交互に切換えて、行を並べ替えます。

「カーブ名」

測定に使用したリファレンス・カーブのカーブ名を表示します。
左クリックすると、カーブ名の昇順・降順を交互に切換えて、行を並べ替えます。

「OK」ボタン

リスト上で選択されている測定カーブをダウンロードします。

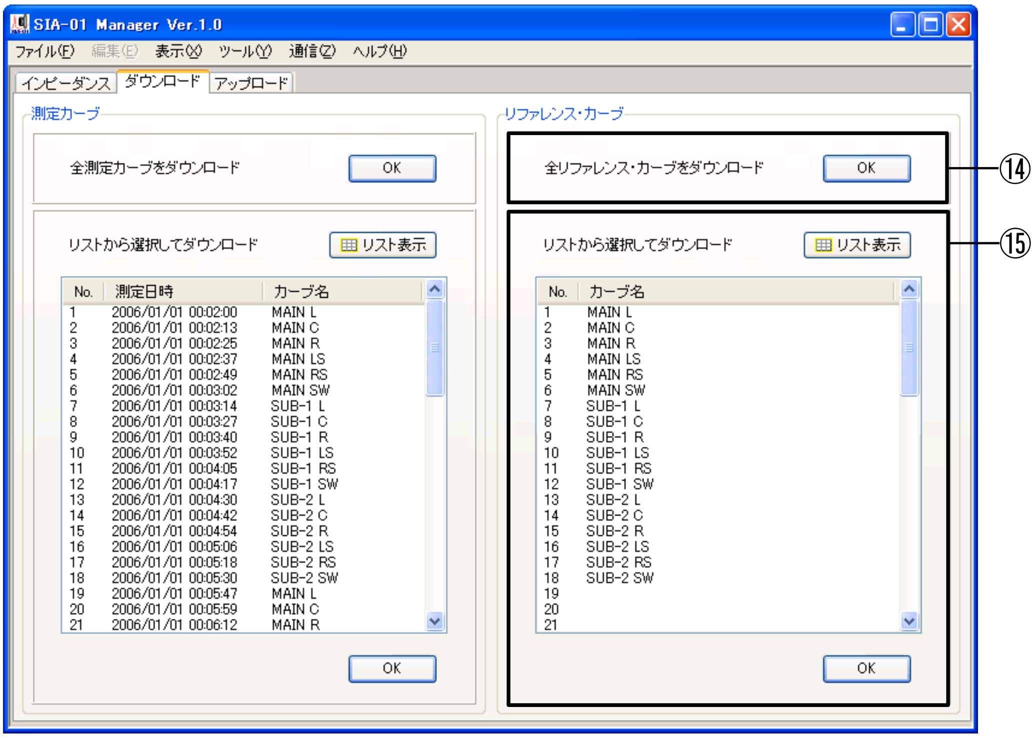
測定カーブをリストから選択してダウンロードするときは、次の手順で行ないます。

① リスト表示ボタンを左クリックして、リストを表示します。
② ダウンロードしたい測定カーブの行を左クリックして選択します。
③「OK」ボタンを左クリックすると、ダイアログが表示されますので、保存するフォルダを指定して、ダウンロードを実行します。

※キーボードの「Shift」キーを押しながら、2箇所連続して左クリックすると、その2箇所の間のカーブ全てが選択されます。
「Ctrl」キーを押しながら、複数箇所連続して左クリックすると、クリックした全てのカーブが選択されます。

各部の名称と働き

【ダウンロード画面】



⑭「全リファレンス・カーブをダウンロード」

SIA-01 に保存されている全リファレンス・カーブをダウンロードして、インピーダンス・ファイルとして保存すると同時に、リファレンス・ リスト・ファイルを作成します。
「OK」ボタンを左クリックすると、保存フォルダー選択ダイアログが表示されますので、フォルダーを選択してダイアログの「OK」ボタンを左クリックするとダウンロードされます。

⑮「リストから選択してダウンロード」

SIA-01 に保存されているリファレンス・カーブのリストを表示し、そのリストで選択したカーブのみをダウンロードして、インピーダンス・ファイルとして保存します。
保存と同時に、リファレンス・リスト・ファイルも作成されます。

「リスト表示」ボタン

SIA-01 からリファレンス・カーブのリストをダウンロードして表示します。

リファレンス・カーブ・リスト表示

SIA-01 に保存されているリファレンス・カーブのリストを表示します。

「No.」

リファレンス番号を表示します。
左クリックすると、番号の昇順・降順を交互に切換えて、行を並べ替えます。

「カーブ名」

リファレンス・カーブのカーブ名を表示します。
左クリックすると、カーブ名の昇順・降順を交互に切換えて、行を並べ替えます。

「OK」ボタン

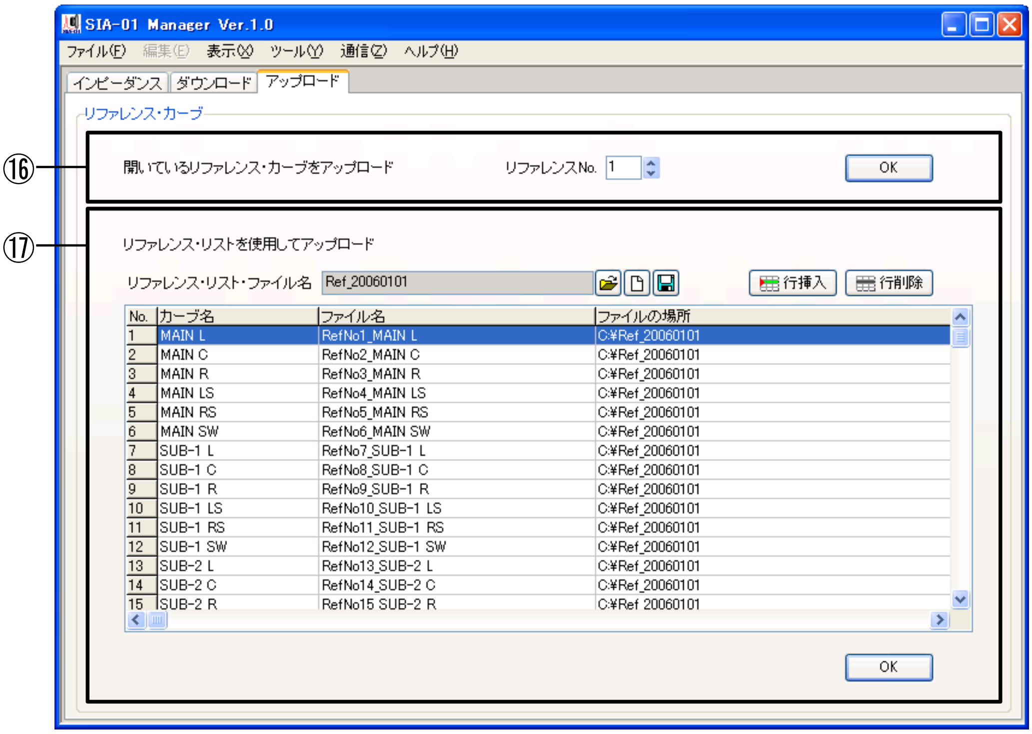
リスト上で選択されているリファレンス・カーブをダウンロードします。

リファレンス・カーブのダウンロードは次の手順で行ないます。

① リスト表示ボタンを左クリックして、リストを表示します。
② ダウンロードしたいリファレンス・カーブの行を左クリックして選択します。
③「OK」ボタンを左クリックすると、ダイアログが表示されますので、保存するフォルダを指定してダウンロードを実行します。

※キーボードの「Shift」キーを押しながら、2 箇所連続して左クリックすると、その２箇所の間のカーブ全てが選択されます。
「Ctrl」キーを押しながら、複数箇所連続して左クリックすると、クリックした全てのカーブが選択されます。

【アップロード画面】



⑯開いているリファレンス・カーブをアップロード

「インピーダンス」画面でリファレンス・カーブとして開いているインピーダンス・ファイルをSIA-01へアップロードします。

「リファレンスNo.」設定

アップロードするリファレンス番号を指定します。
右側のアップ・ダウン・ボタンを左クリックすると変更できます。

「OK」ボタン

アップロードを実行します。

⑰リファレンス・リストを使用してアップロード

64種類のインピーダンス・ファイルを、リファレンス・カーブとして一括してSIA-01へアップロードします。
アップロードするインピーダンス・ファイルはリファレンス・リストで指定します。

「リファレンス・リスト・ファイル名」

現在、開いているリファレンス・リストのファイル名を表示します。

オープン・ボタン

リファレンス・リスト・ファイルを開きます。

新規作成ボタン

リファレンス・リストを新規に作成します。

保存ボタン

リファレンス・リストを保存します。

「行挿入」ボタン

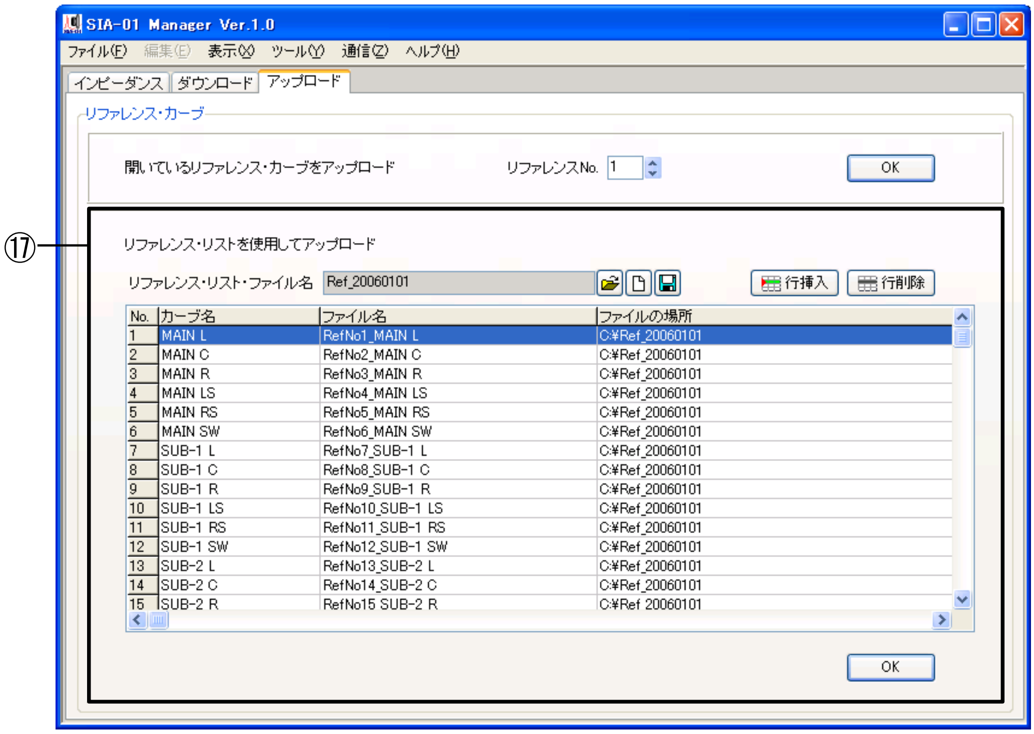
リファレンス・リスト画面上で選択されている行に、空白の行を挿入します。

「行削除」ボタン

リファレンス・リスト画面上で選択されている行を削除します。

各部の名称と働き

【アップロード画面】



リファレンス・リスト画面

リファレンス・リストの内容の表示と、編集を行うことができます。

「No.」

リファレンス番号を表示します。

「カーブ名」

登録されているインピーダンス・ファイルのカーブ名を表示します。

「ファイル名」

登録されているインピーダンス・ファイルのファイル名を表示します。

「ファイルの場所」

登録されているインピーダンス・ファイルが保存されている場所を表示します。

「OK」ボタン

アップロードを開始します。

リファレンス・リストの編集とアップロードは、次の手順で行ないます。

①オープン・ボタンでリファレンス・リストを開くか、新規作成ボタンで新規に作成します。
②登録したいリファレンス番号の行を左ダブル・　クリックします。
③ダイアログが表示されますので、登録するインピーダンス・ファイルを選択します。
④OK ボタンを左クリックすると、ダイアログが表示されますので、指示に従いアップロードを実行します。

オズ株式会社

〒101-0042
東京都千代田区神田東松下町 12-1
TEL：03-3525-8745
FAX：03-3525-8746
E-mail：info@oz-audio.com
URL：www.oz-audio.com